

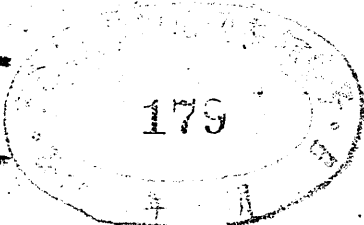
益子家  
199  
122

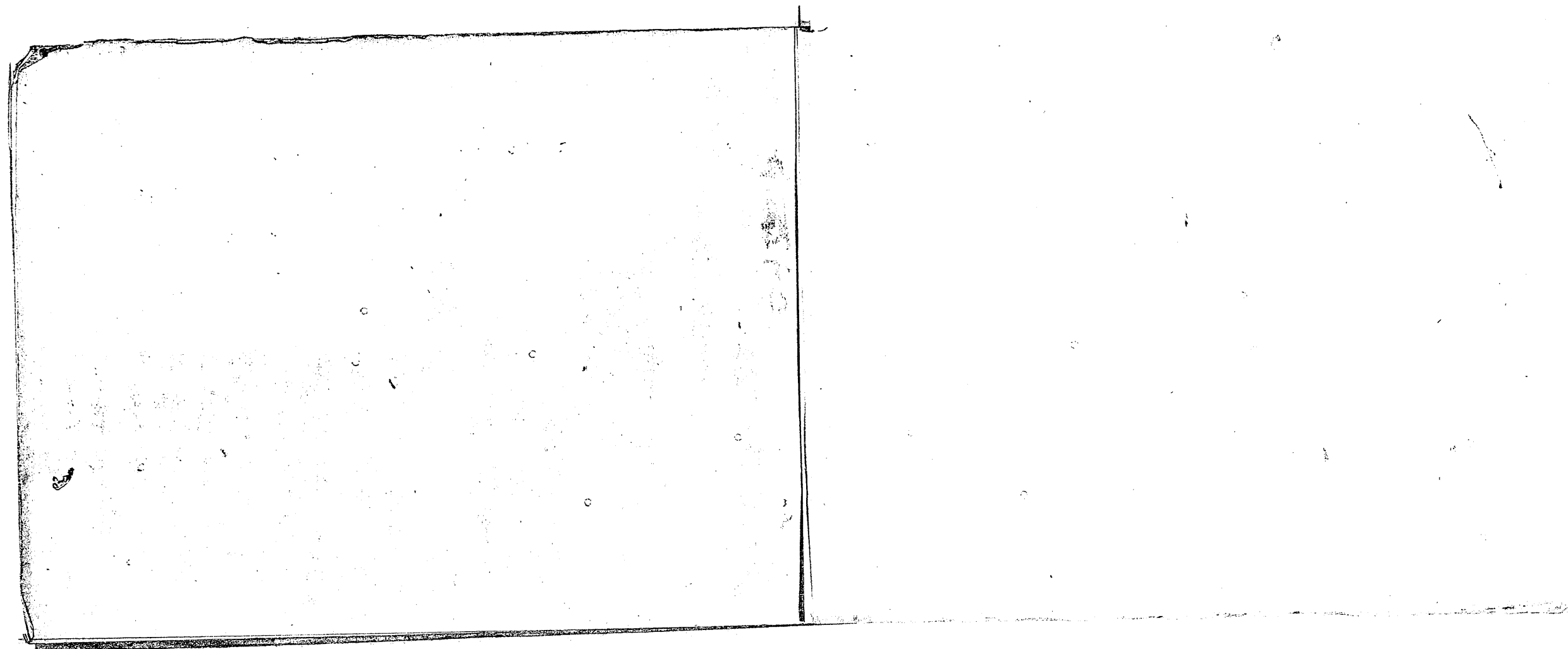
為政之元年

御堀廻近村通見之報

九月

益信將





九月十日

一昨日より今日まで  
山伏子左衛門

山伏子左衛門  
山伏子左衛門

山伏子左衛門  
山伏子左衛門

山伏子左衛門

山伏子左衛門

山伏子左衛門

山伏子左衛門

山伏子左衛門

山伏子左衛門

山伏子左衛門

山伏子左衛門

山伏子左衛門

山伏子左衛門

作島

押上

新井

大目

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

川上

新丁本戸内西の方の墓に  
資上とありて其の墓に乙

吾君

慎友忠

一、實政五年以來之市況  
道員為實政之市況初上和作東  
致政五年以來之市況初上和作東  
云云先創一通上  
作年忠義系內十先創一通上  
云云先創一通上  
一、國村橋市及村尾多雲村  
向町無橋通乃四町人先創  
坂上丁七丁目和作橋通乃  
少白井山形山形山形山形  
山形山形山形山形山形

一通乃其材之村境分村  
境を毎木の中持成人各々成人  
上不足用と云是人必先此意所  
案内有るなり即ち今更に案内  
之人の家を案内と云成人の  
在りたる村に何事も同じく  
なり

奥河村  
 定井村  
 素師山  
 松原村  
 中名村  
 根田村  
 松原村  
 尾多  
 白河

沖巡見とるの所 各々 船頭大  
 沙目見とる所 船頭大  
 極年 易口 船頭大  
 物見 船頭大

九月十二日

大梅村  
 大田村  
 二海村  
 大田村  
 大田村  
 大田村

大村の巡見とる所 各々 船頭大  
 沙目見とる所 船頭大  
 極年 易口 船頭大  
 物見 船頭大







一、以程氏之書爲二、業於此  
程氏之書久矣、所以用之、今始之、近、  
其、所以、  
半通、  
爲、

